

写真 × 哲学

創作する人のための哲学ワークショップ

「写真／芸術とは何か」という問いについて他者と対話し、写真と言葉による創作を通じて、新しいインスピレーションを発掘するワークショップ「写真×哲学」を開催します。

全4回のプログラムでは、哲学、美学についての基本的な考え方を学びながら、参加者が写真と文章を創作し、プレゼンテーションとディスカッションをします。創作物のクオリティを互いに吟味することが目的ではありません。アイデアを“かたち”にすること、自分の考えや作品の価値を他者に伝えるコツ、問いを深め斬新なコンセプトを発見する方法を、哲学メソッドの実践により体験します。

写真を最近始めた方から、写真家、アーティスト、クリエイター、デザイナー、学生、そのほか創作活動に哲学を活用することに関心のある方のご参加をお待ちしています。

[会場]

ガーディアン・ガーデン
東京都中央区銀座7-3-5ヒューリック
銀座7丁目ビルB1F

[日時]

全4回 各回とも19:10-20:40
4月13日〔金〕 4月27日〔金〕 5月11日〔金〕
5月25日〔金〕

[参加費・定員]

参加無料 定員10名 要申し込み

[申し込み期限]

3/31〔金〕まで

お申し込みはこちらから

<http://rcc.recruit.co.jp/gg/>

※先着順ではありません。締め切り後に抽選をおこない、結果をご連絡いたします。



写真はたんに視覚的なものではありません。何をどのように撮るかは、conceptとidea、すなわち言語と観念によります。他方、哲学はたんに概念的なものではありません。何をどのように捉えるかは、imageのperspective、すなわち表象と視点によります。

「写真×哲学」は、一見遠く離れているように見えながら、実はきわめて近接していることの二つの営みを交差させます。その試みは、あらゆる創作のための斬新でありつつ原点でもあるような方法を実践的に学ぶ機会になるでしょう。

梶谷真司「哲学者・東京大学教授」



5月25日〔金〕19:10から公開シンポジウム開催！

プログラム参加者の最終プレゼンテーションとディスカッションは、参加者以外の方も見学可能です。直接ガーディアン・ガーデン会場にお越しください。

